

# 石小っ子の作法

◎子どもの立場で、表現します（※は「特に気を付けること」、★は「やってほしい！プラス・ワン」を表します）。

## 礼の仕方

目指す姿：自分の気持ちが、相手に伝わるおじぎをする

◎「礼三息（れいさんそく）」であいさつをします。

【例】「朝のあいさつ」

4 息を吸いながら  
上体をもどし、  
相手の目を見ます。



2 息を吸いながら、上体を30度  
ほどかたむけます。  
3 動作が止まったところで、  
息をはきます。  
このとき、頭と背すじは、  
一直線になります。  
手は、前の方に移動します。



おはようございます

1 相手の目を見て、  
あいさつをします。



## 歩き方

目指す姿：落ち着いて、ゆっくり歩く

- 玄関や教室の出入口では、特に飛び出したり、走ったりしないようにします。  
★教室に入る人と出る人のタイミングが同じときには、入る人は、出る人に「どうぞ」と言しましょう。
- 廊下や階段は、静かに右側を歩きます。  
※1階は、お客様が来たり、会議を行ったりしています。特に静かに歩きます。

## 入室・退室

目指す姿：礼儀正しい態度と言葉づかいを身に付けて、入室・退室をする

- ドアの外で「トン・トン・トン」と3回ノックをし、戸を開けます。
- その場で、「失礼します」と言い、軽くおじぎ（15度ほど）をします。
- しきいをふまず、一步だけ教室に入ります。
- 「学年・組・名前・用件」を言います。
- 用件を伝える先生などから「どうぞ」と言われたら、職員室の後方の中央まで移動します。
- 先生方へあいさつをします（先生方、おはようございます など）。
- 先生に用件を伝えます。
- 用事が済んだら、戸の前に立ち、「失礼しました」と言って、軽くおじぎ（15度ほど）をしてから、退室します。

○年○組の□□□□です。  
△△先生に、  
用事があってきました。



## 座り方

目指す姿：姿勢を正しくして座る

1 前をまっすぐ見ます。



2 手は、ひざの上に、  
おきます。

3 足は、かかとをゆかに  
つけて、そろえます。



4 背すじをのばします。

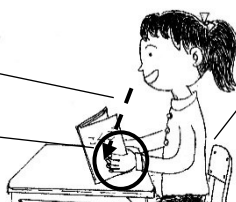
5 おなかは、つくえから  
にぎりこぶし1つ分、  
背中は、いすからにぎ  
りこぶし1つ分、はなし  
ます。

## 読み方

目指す姿：本をしっかりと持ち、よい姿勢で読む

1 目を、本から30cm  
はなします。

2 本の下の方を両手で  
持ちます。



3 背すじをのばします。

※全員が読む姿勢になってから、読み始めます。

※聞く人に内容が伝わる声で、読みます。

◎立って読むときも、同じような姿勢です。

## 書き方

### 目指す姿：鉛筆を正しく持ち、よい姿勢で書く

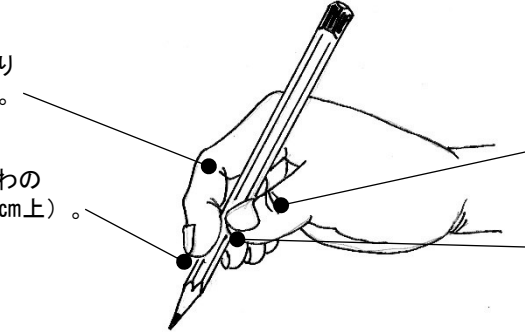
◎基本的な姿勢は、「座り方・読み方」と同じような姿勢です。

- 1 紙の中心に、おへその中心をそろえます。
- 2 えんぴつを持たない手は、机の上に軽く置きます。
- 3 背筋を伸ばします。

#### 【えんぴつの持ち方】

1 人差し指に、力が入りすぎないようにします。

2 えんぴつのけずりぎわの少し上を持ちます（1cm上）。



3 親指は、強く曲げないようにします。

4 親指の先が、人差し指より下がらないようにします。

## 話し方

### 目指す姿：相手や場に合った話し方をする

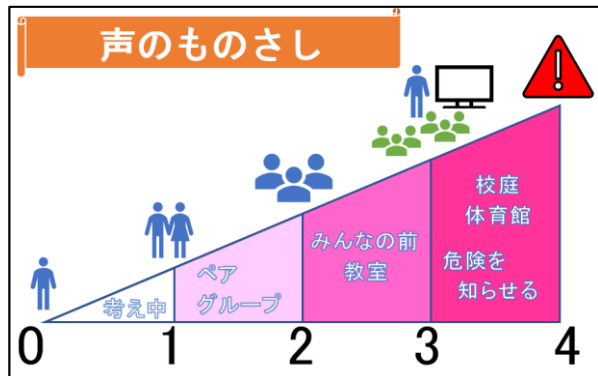
- 1 友達の名前を呼ぶときには「さん」を付けます。
- 2 先生を呼ぶときには、「〇〇先生」と言います。
- 3 目上の人と話をするときには、敬語を使います。

※学校で目上の方は、先生です。先生に敬語を使って話すことで、目上の人との話し方を身に付けましょう。

#### 【敬語の例】

言う→おっしゃる	いる→いらっしゃる
する→なさる、される	来る→おいでになる お見えになる
見る→ごらんになる	くれる→くださる
食べる→めしあがる	聞く→お聞きになる 聞かれる
借りる→お借りになる 借りられる	話す→お話になる 話される
取る→お取りになる 取られる	思う→思われる

#### 声のものさし



## そうじ

### 目指す姿：道具の正しい使い方を身に付けて、そうじをする

- 1 ほうきの使い方  
(1) ほうきの穂先は、ゆかからなるべくはなさないようにはきます。  
※ほうきは、モップのように押したり引いたりして使いません。  
(2) 木目にそって、はきます。  
(3) ごみは、1か所に集めて、小ほうきとちりとりで取ります。

- 2 はたきの使い方  
(1) 床をはく前に、使います。  
(2) 上のほこりを落とします。

- 3 ぞうきんの使い方  
(1) しぼったぞうきんは、二つ折りにして使います。  
そうすると、ぞうきんは、4面使うことができます。  
(2) 木目に沿って、両手でふきます。  
(3) きれいになったところを汚さないように、後ろに下がりながらふきます。  
(4) パケツの水は、あまり汚れないうちに交換します。

- 4 そうじをするための準備  
(1) 机は持ち上げて運びます。重い場合は、友達と協力して運びます。  
(2) 机以外にも、そうじをするときには、物を移動します。

#### 【ぞうきんのしぼり方】

※にぎる手は、上下反対になってもよいです。  
※矢印の方向に、しぼります。



#### 【ぞうきんの使い方】

